

【さんすう】

「※」はべんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

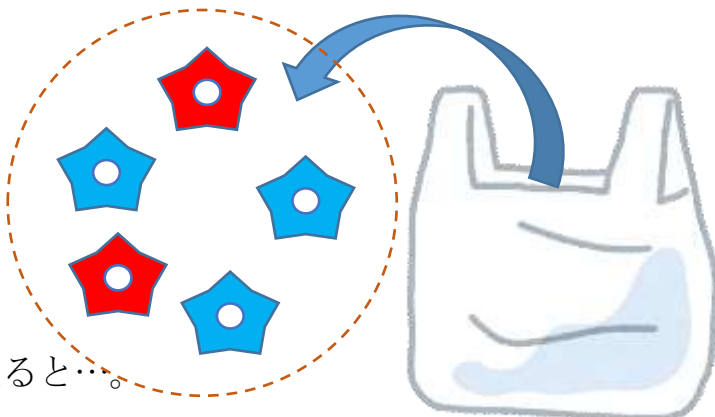
<べんきょうすること>

◆「いくつといくつ」（きょうかしよ 31～34 ページ）

ふくろの なかから、おはじきを 5こ とりましょう。
あか が いくつで あお が いくつかな？

(1) あかが こ

あおが こ



※いろごとに かずを かぞえると…。

ゆびで あらわしている かずは？



(2) **5** は、**1** と に わけられます。

と **3** にも わけられます。

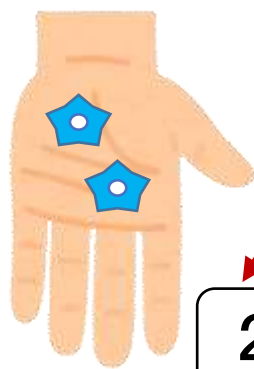
※ほかの わけかたも あるかな？ノートか とりくみシートに かいてみよう。

5は、2つのかずに わけることができたね。
ほかのかずでも できるかなのかな。



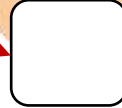
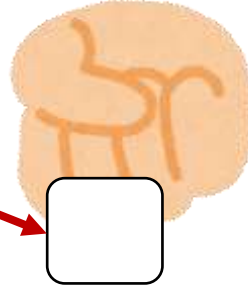
6や7も 2つのかずに わけることが できるかな？

かくした おはじきは いくつかな？



6

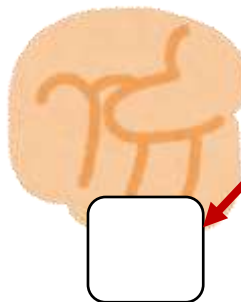
このとき



2

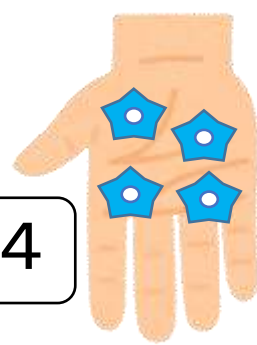
てのなかに かくれている かずは

もし さいしょに 7こ もっていたら…？



7

このとき



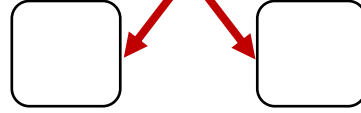
4

てのなかに かくれている かずは

7



7



※ほかの わけかたもあるかな？ みつけたら ノートに かこう。

<この べんきょうで、わかったことや、きづいたこと、
おもしろかったところを、おうちのひとに おはなししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆いくつといくつ（教科書 P31～34）

- ・この学習は、色ごとに分けて数を考えたり、片方のおはじきの数から、もう片方を予測したりする活動を通して、数を合成したり、分解したりする見方を学びます。
- ・1年生では、数をブロックやおはじきに置き換えて考えることがとても大切になります。子どもがすぐに答えを出せても、ブロックやおはじきなどでもう一度表現したりするなど、操作を通して数感覚を育むことが大切です。